

タイトル (活動概要)	11 身近な道路の安全マップをつくろう		アプローチ (関連する力)	「自分づくり」 ① ②	
タイミング (実施時期)	新年度の早い時期 (4月～5月)	活動 場所	教室・近隣地域 など	所要 時間	45分×3
対象学年	幼・小低・小中・小高 中1・中2・中3・高	対象 規模	学級	活動 場面	特活(健康・安全)、 総合学習
活動の ねらい	<p>&lt;背景&gt;群れ合い体験などの社会体験不足から危険を感じ、回避する力が未成熟</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険を感じ、回避する力など安全を見極める能力をフィールドワークの調査を通して体験的に身に付ける</li> <li>登下校や遊びに出かけたときの安全確認の方法や考え方を身に付ける</li> </ul>				
準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助指導員(保護者やくらし安全指導員などに依頼)</li> <li>安全マップ…学区内の略地図に主な道路や目印となる建造物等を記入したもの</li> <li>ふり返しシート</li> </ul>				
学習・活動		支援の観点・留意点等		資料等	
<b>1 導入</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが危険に巻き込まれた事件に触れて、身近にある危険箇所について考える</li> <li>どのようなところが危険箇所や注意を要する場所かを事前に整理する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が怖い思いをした経験をふり返る</li> <li>家の人との安全に関する約束ごとなども引き出す</li> <li>子どもなりに危険を想定させ、様々な危険箇所に気付くようにする</li> </ul>		模造紙で学区地図を示す	
実際に身近な道路を歩いて、どんなところに危険な場所があるかを確認しましょう					
<b>2 主活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域の中での危険箇所や注意が必要な場所について、通学路等の生活道路を歩いて調べ、安全マップに記入する</li> </ul> <p>&lt;フィールドワーク&gt;</p> <p>(1) 危険箇所等の確認</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①人通りのすくないところ</li> <li>②見通しが悪いところ</li> <li>③入りやすく、見えにくい場所 など</li> </ol> <p>(2) 助けを求めるところ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①交番や消防署</li> <li>②こども110番の家</li> <li>③お店や知り合いのお家 など</li> </ol> <p>&lt;安全マップづくり&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①フィールドワークで調べたことを記入</li> <li>②写真などの資料もマップに添付</li> </ol>		<ul style="list-style-type: none"> <li>方面別ごとに補助指導員を配置する</li> <li>事前に整理した危険箇所を実際に確認させる</li> <li>時間帯によって人通りの少ない道路もあることを確認する</li> <li>遠回りでも安全な道路の確認をする</li> <li>交通安全に関する情報も安全マップに記入教師が整理する</li> </ul>		フィールドワークの方面別に補助指員を配置する	
<b>3 ふり返し</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふり返しシートに記入する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>危険箇所の見きわめ方についてまとめる</li> </ul>		ふり返しシート	
<b>配慮事項</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の危ないと思った体験を大切に、危険を見きわめる力を引き出す</li> <li>フィールドワークで出会う地域の方へのあいさつの励行など事前指導を行う</li> <li>安全を守る地域の方への感謝の気持ちを培い、必要以上に恐怖心を与えない</li> </ul>			

参考；小宮信夫「犯罪はこの場で起こる」(光文社 2005年)

# 資料 安全マップをつくらう！

みんなを守ってくれる家や近くの交番などがあります。実際に通学路を歩いて被害にあいやすい場所や「いざ」というときにつけこめる知り合いの家や店などがどこにあるかをたしかめておきましょう！

- 子ども110番の家
- きけんな（声をかけられやすい）場所
- 交番、消防署、郵便局
- 暗くて見通しの悪いところ
- つけこめる知り合いの家
- つけこめる近くの店

## ※保護者様

安全マップをご参考にして、地域の安全確認のため、お子様と防犯に関する話合いをしてください。

（学校から家までの通学路や普段つかう道を赤い線で書きましょう）

# 身近な道路の安全マップをつくろう

～ふりかえりをしよう～

年 組 なまえ

## 1 「安全マップづくり」の学習を通してどうできたか？

○ 身近な地域でこわい思いをしないように、安全な生活を送るための見方や考え方について、良く理解できたところに◎、だいたいできたところに○を書きましょう。

- ( ) 地域の危険なところの見きわめ方
- ( ) 安全に通行できる道路の確かめ方
- ( ) 普段から地域社会で生活する心がけ

## 2 「安全マップづくり」の学習で、地域社会での安全なすごし方について、身に付けることができましたか

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった
4	3	2	1
----- ----- ----- -----			

## 3 「安全マップづくり」の学習を通して、気づいたことやうれしかったこと、楽しかったことなどを自由に書いてください。